

うめのか 梅の香

38
2023.4.10



編集
発行

社会福祉法人 南相馬福祉会
特別養護老人ホーム

福島県南相馬市小高区小高字金谷前81番地
〒979-2102 TEL(0244)44-1600
FAX(0244)44-1601

E-mail umenoka@grace.ocn.ne.jp
U R L http://minamisomafukushikai.or.jp



うめのか
梅の香

安心

信頼

やすらぎ

事業内容

特別養護老人ホーム梅の香 定員50名
短期入所生活介護 定員10名
グループホーム小高 休止中

本多キヨ様 百歳賀寿贈呈式



3月9日、本多キヨ様が百寿を迎えられ、賀寿贈呈式を行いました。新型コロナウイルスの流行も大分落ち着いてきており、距離を保ちながらではありますが、南相馬市小高区役所長 上野勝様をはじめ、ご来賓の方もお招きし、全員参加でお祝いすることができました。また、栄養士が心をこめて手作りした大きな百歳ケーキを、ご利用者の皆様に食べていただきました。

本多様の長生きの秘訣は、好き嫌いせず何でも食べ、笑顔を絶やさないこと。そして運動も続けることです。笑顔を絶やさず生活することは、簡単なようでなかなか難しいものです。私たちも人生の先輩方の教えを取り入れ、この先の人生に活かして行きたいと考える日となりました。

本多様、本当におめでとうございます。

特定技能介護職員 N3 合格!!



皆さんは「日本語能力試験」をご存じでしょうか。この試験は、日本語を母語としない人を対象に日本語能力を測定し、認定することを目的としており、5段階のレベル(N1~5)に分かれて年2回実施されているものです。

梅の香では、令和4年5月よりミャンマーからの特定技能介護職員2名が働いていますが、12月4日にN3の試験を受け、無事2名とも合格しました。

試験までの期間は、介護の仕事と日本語の勉強を同時に行っていたので、とても大変だったと思います。無事に合格できたのは、本人のがんばりはもちろんですが、南相馬市多文化共生センターSAKURA様、福島県老人福祉施設協議会様等、多くの方の支えがあつてのことだと思っています。今後は、介護福祉士を目指してがんばってほしいです。

クリスマス会

ケーキを食べながら、名(迷?)司会者の無茶振りによるサンタとトナカイの華麗な踊りを見て楽しみました。
 今回は飾りつけにも力を入れ、ご利用者の皆様にも帽子やカチューシャを被っていただき、一緒に盛り上げていただきました。

令和4年12月22日
 梅の香ひろばにてクリスマス会を行いました。
 コロナ禍というところで、ユニットごとではありましたが、



新年会

は、罰ゲームとしてご利用者により顔に墨を塗られました。が、「かわいそうで、塗れない」と職員を気遣ってくださる方もいれば、ニコニコと楽しそうに、容赦なく墨を塗ってくださった方もいました。年の初めから、ご利用者の皆様の楽しそうな笑顔を見ることができ、良いスタートができたと思います。

1月5日に新年会を行いました。
 今年は、余興として、職員による【二人羽織】【テーブルクロス引き】【羽根つき】を各ユニットで行いました。
 羽根つきで失敗した職員



節分

2月3日に節分行事を行いました。

今年は、趣向を凝らして、桃太郎、雉、猿、犬も登場し、ユニット内の鬼達とご利用者の皆様扮する小鬼たちと戦ったり、体操を行ったりと

楽しいひと時を過ごしました。ですが、やはり豆まきがしたい！とのご利用者の思いがあり、正義の味方の桃太郎一行にもボール（新聞紙を丸めたもの）をぶつけて退治する展開となり、皆で大笑いをし、十分に厄除けができたと思います。来年の節分では、もっと楽しい桃太郎劇にしたいと思います。



ひな祭り

今年も梅の香ひろばに七段のひな人形を飾り、ご利用者の皆様に「たいした立派なお雛様だね」と喜んでいただきました。

3月3日の昼食には、ちらし寿司、すまし汁、筑前煮、いちご、また、おやつには、かわいらしいお内裏様とお雛様の練り切り、わたようかんを食べていただきました。



した。「食べるのもったいない」との声もきかれました。余興では、職員がお内裏様、お雛様、三人官女に仮装し、各ユニットを回り『うれしいひな祭り』を、ご利用者と一緒に歌い、楽しい時間を過ごすことができました。



災害に強い 施設づくりを目指して

東日本大震災以降、「百年に一度」と言われるような災害は、毎年、全国各地で発生しています。梅の香でも、令和元年10月の台風では、系列施設に避難を余儀なくされ、令和3年2月と令和4年3月の福島県沖地震でも、大きな揺れを感じ、不安な一夜を過ごしました。

これらの災害は、いずれも夜間に発生しています。万が一停電になってしまったら、冷暖房も水道もトイレも使用できず、真っ暗な中でどうやってご利用者や職員を守ることができるだろう。福祉避難所としての役割を担うこともできない…と考え、補助金を活用して非常用自家発電機とLPガスバルク貯槽を設置し、施設内の一部を停電時も通常どおり使用できるようにしました。



今後は設備の点検や停電を想定した訓練を定期的に行い、災害に強い施設づくりを目指します。

床走行式リフトの導入

梅の香では、ご利用者の状態に合わせて様々な福祉用具を活用してきましたが、より安全で安楽に車椅子からベッド間を移乗できるよう床走行式リフトを導入しました。実際に体験されたご利用者から、「全く痛くないよ」「恐くないよ」とお聞きし、操作している職員も安心できましたし、腰痛持ちの職員や小柄な職員からも、「負担なく介助できました」と大変好評です。

今後も、ご利用者の皆様が快適に生活でき、かつ職員の腰痛予防や人員不足対策につながるよう、福祉機器を活用していきたいと思っております。



職員*紹介*

● 池田 順子



2月より福寿園から異動してきました主任栄養士の池田です。厨房で安全な食事を提供しつつ、「ユニットケア」の長所でもある、きめ細やかな対応ができるよう支援していきたいと思っております。

● 大場 雅実



2月半ばより勤務させていたただいております大場と申します。埼玉県から移住してきました。介護職経験は浅いですが、梅の香でたくさんのお話を学ばせていただき、早くご利用者、施設の力となれるよう努力して頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。

● 遠藤 千尋



2月より梅の香でのお世話になることになりました遠藤です。まだ、いろいろとわからない事は沢山ありますが、ご利用者に安心できる生活を送っていただけるよう頑張りたいと思っておりますので、これからよろしくお願いたします。

● 石井 清子



1月から介助員としてお世話になっております。介護の仕事は初めてなので、色々教えていただけましたら嬉しいです。ご利用者が快適に過ごせるようにサポートしたいと思っております。

寄贈

(令和5年1月11日～令和5年3月31日まで)

佐々木 康博様 (南相馬市) 山うど

事務室からのお知らせ

休日支払対応日のお知らせ

梅の香4ヶ月分の休日支払対応日をお知らせいたします。

- 4月15日(土)・16日(日)・22日(土)
- 5月13日(土)・14日(日)・20日(土)
- 6月17日(土)・18日(日)・24日(土)

利用料の支払いや通帳への入金等について、午前9時30分～午後4時まで梅の香事務室にて対応いたします。